

## 【活用にあたって】

教科書には「日本の美術は、縄文時代から今に至る長い歴史の中で、諸外国の美術や文化を積極的に取り入れながら、日本の風土や伝統にふさわしい独自の文化として形成されてきたものです。」とあります。

藤田嗣治は日本を代表する画家の一人で、日本画の技法を油彩に取り入れつつ独自の道を極めようとしていました。そこに教科書に示された独自の文化の一端が見てとれるのではないのでしょうか。

藤田は猫と女性を得意な画題としていました。戦前よりフランス、パリで活動し、パブロ・ピカソとは晩年まで親交が続いたそうです。

この2枚の肖像画は同じ人が描いたと思えない印象を与えますが、そこに作家の変容が見て取れますね。

### 解答例

問1： 下

問2： 「素晴らしき乳白色」と呼ばれる独自の絵画

問3： 上： 紙に鉛筆・水彩 / メキシコ

下： 板に油彩 / 東京

発展： メキシコ ・ 美術教育 ・ 南北アメリカ